

国内旅行もエクスペディア

エクスペディア 世界16地域 有給休暇・国際比較調査 2020発表！

コロナ禍で有給休暇の取得が世界的に低下

日本人は世界一のステイホーム率！ 一方で行きたい旅行先は増加

世界の大手総合旅行ブランドの一つであるエクスペディア(www.expedia.co.jp)では、毎年恒例の「有給休暇の国際比較調査」を世界16地域 9,200名を対象に実施しました。今回は新型コロナウイルス感染症による休暇の過ごし方や旅行に関する意識の変化、さらに今後の旅行計画と併せて、調査結果を発表します。

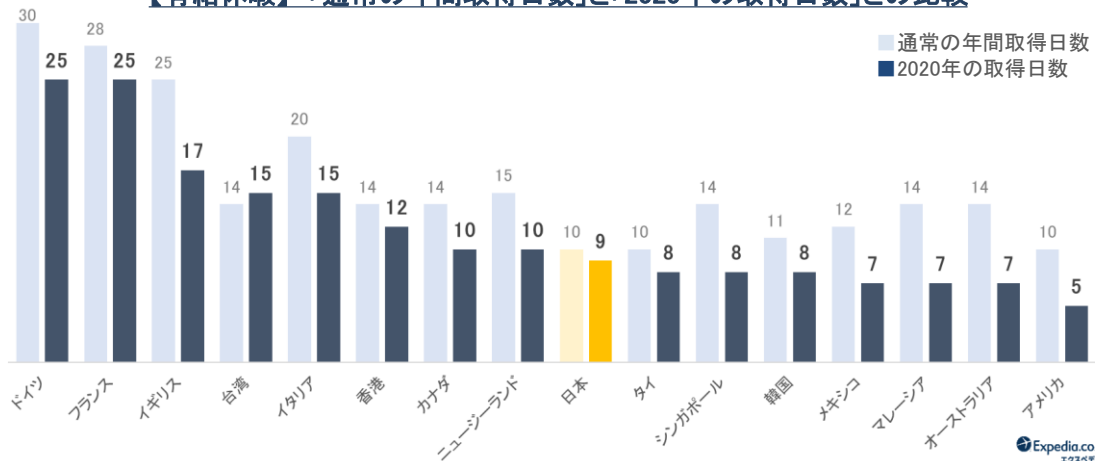
2020年の有給休暇取得日数は世界的に低下の傾向

2020年は新型コロナウイルス感染症が、世界中の人々の生活に多大な影響を及ぼしました。エクスペディアが実施した「有給休暇の国際比較調査」によると、**2020年は世界的に有給休暇の取得日数が例年と比較して少ないことが明らかになりました。**調査地域のなかで唯一、例年より有給休暇取得日数が増加しているのは台湾で、通常は14日のところ2020年は15日と一日増加しています。日本では例年10日に対して2020年は9日と一日減る結果になりましたが、その他の地域と比較すると大きな変化はありませんでした。昨年までの調査※では、日本は世界で有給休暇の取得日数が最も少ない傾向にありましたが、2020年は日本より有給休暇取得日数が少ない地域も多くなりました。

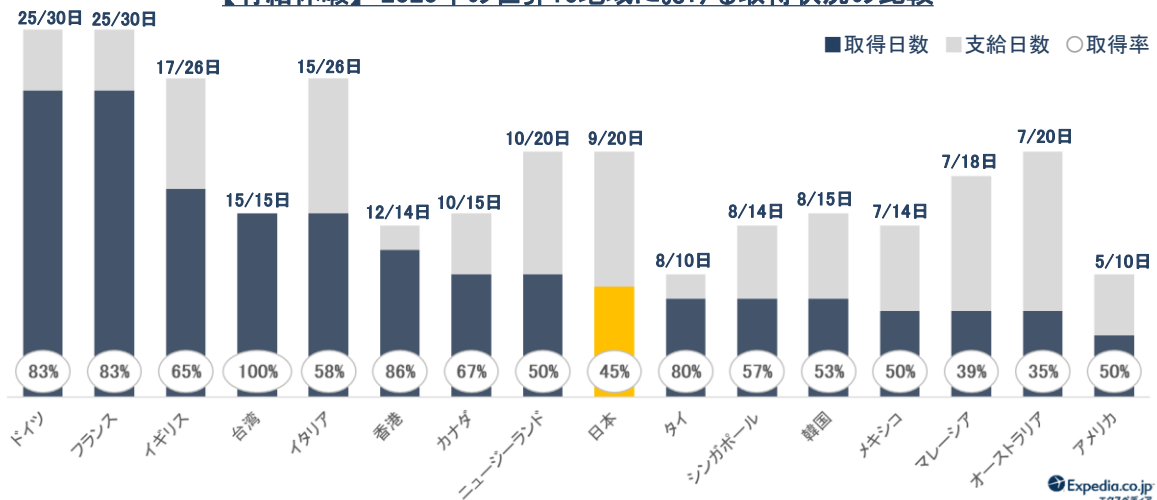


※過去の調査結果の詳細は最後のページに纏めています

【有給休暇】「通常の年間取得日数」と「2020年の取得日数」との比較



【有給休暇】2020年の世界16地域における取得状況の比較



有給休暇の取得が低下した理由はコロナ！一方で日本における影響は比較的少ない傾向

有給休暇を取得しない理由として、世界的には「新型コロナウイルスの影響でどこにも旅行できない」というものが最も多い結果となり、**新型コロナウイルスにより出かけられなかったことが世界的な有給休暇取得の低下に影響を与えていることがわかりました。**

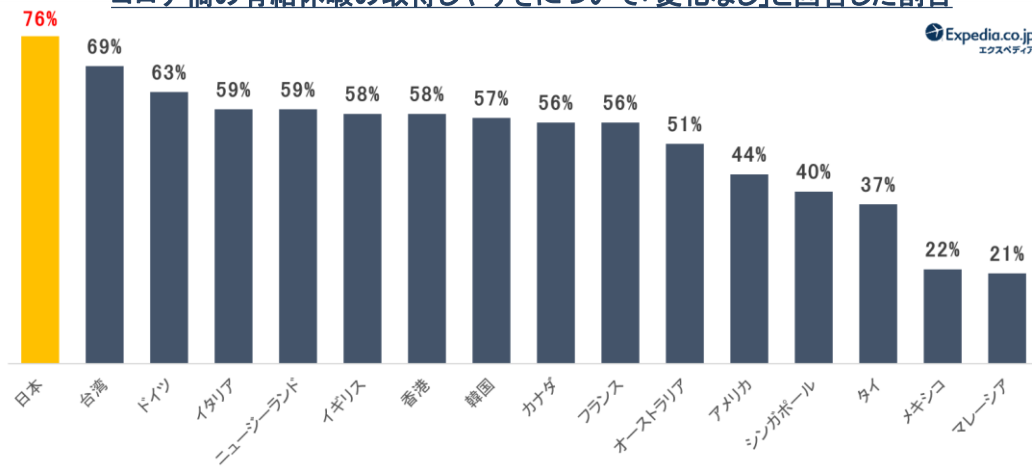
一方で、日本では「緊急時のために取っておく」と回答した人が最も多く、2位に続いた「人手不足など仕事の都合上難しい」とあわせて、昨年と同様の結果※になりました。また「コロナ禍において有給休暇の取得は簡単だったか、もしくは困難だったか」という設問において「変化なし」と回答した人が、日本は世界で最も多い結果になりました。このようなことから、有給休暇取得という観点では、日本における新型コロナウイルスの影響は他の地域と比較すると少なかったのかもしれない。

※過去の調査結果の詳細は最後のページに纏めています

【世界】 休暇を取らない理由	
1	新型コロナウイルスの影響でどこにも旅行できない (33%)
2	緊急時のために取っておく (27%)
3	お金がない (22%)

【日本】 休暇を取らない理由	
1	緊急時のために取っておく (30%)
2	人手不足など仕事の都合上難しい (22%)
3	新型コロナウイルスの影響でどこにも旅行できない (12%)

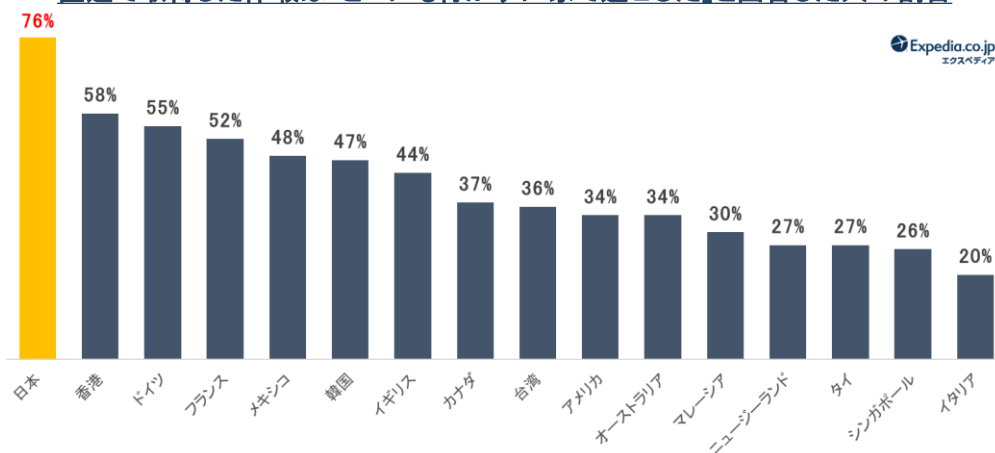
コロナ禍の有給休暇の取得しやすさについて「変化なし」と回答した割合



ステイホーム率世界一！76%の日本人が直近の休暇は「家で過ごした」という結果に

直近で取得した休暇の過ごし方について聞いたところ、76%の日本人が「どこにも行かずに家で過ごした」と回答しており、**直近の休暇におけるステイホーム率が日本は世界で最も高い結果となりました。**日本人の休暇取得日数は例年とあまり変わらないものの、多くの人が感染しないように外出を控えていたことがうかがえます。

直近で取得した休暇は「どこにも行かずに家で過ごした」と回答した人の割合



日本人が旅行の代わりに楽しんだこと1位は「動画配信サービス」！

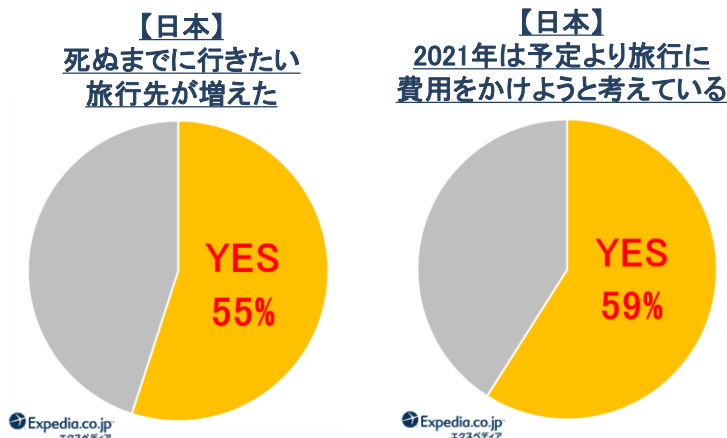
休暇を自宅で過ごす人が多かった日本人ですが、旅行の代わりにして休暇中に楽しんだことは何かを聞いたところ、「動画配信サービスの番組や映画を見る」という回答が1位となりました。続いて「ゲームをする」「料理をする」「読書をする」という回答が多い結果となり、家の中でできる楽しみを見つけることで、2020年の休暇を楽しんでいた様子がうかがえます。

【日本】 旅行の代わりにして休暇中に楽しんだことは？	
1	動画配信サービスの番組や映画を見る（32%）
2	テレビゲームやオンラインゲームをする（21%）
3	料理をする（19%）
	読書をする（19%）

コロナ禍で日本人の旅行熱は高まっている！ 行きたい旅行先が増えた人は半数以上

2020年は自宅で楽しみを見つけながら休暇を過ごすことの多かった日本人ですが、旅行熱は冷めていないようです。

エクスペディアの調査では、**コロナ禍により「死ぬまでに行きたい旅行先リストが増えた」日本人は55%**もいることがわかりました。さらに、「**2021年は予定より旅行に費用をかけようと考えている**」日本人は約60%にもなっています。2020年は自宅にすることが多く大人しくしていた分、旅行熱が高まり、行きたい旅行先が増えているのかもしれない。



新型コロナウイルスによる影響は日々変化していますが、コロナ禍の旅行習慣に関して、日本人は「人の多い旅行先を避ける」「居住地の近くへ行く」「公共交通機関は利用しない」など、3密を避ける回答が多くなりました。また2021年の旅行計画について尋ねたところ、「直前予約をする」と回答した人の割合が最も高くなっています。

多くの日本人が、感染対策へ高い意識を持ちながら日々の変化に柔軟に対応し、またいつか旅行をしようと考えているようです。

【日本】コロナ禍の旅行習慣は？	
1	人の多い人気の旅行先は避ける（28%）
2	居住地の近くへ出かける（22%）
3	公共交通機関ではなく、車を利用する（15%）

【日本】2021年の旅行計画について	
1	時間があって安全だと判断したら直前予約をする（27%）
2	新型コロナウイルスのワクチンを接種できるまでは旅行を保留する（25%）
3	2021年後半まで旅行を保留する（24%）

エクスペディア・ジャパンからのコメント

本調査について、エクスペディアの日本サイトの広報代表である村井晶奈は次のようにコメントしています。「今回の調査から、多くの日本人がコロナ禍のなかで旅行を恋しく感じていることが明らかになりました。日本人の多くの方が休暇中でも大人しくステイホームし、感染対策を気を付けてきました。その一方で、『行きたい旅行先リスト』が増えている人は半数以上もいて、人々の旅行への思いは高まっていることがわかりました。エクスペディアでは、今後も役立つ旅行術やお得な情報をお届けし、また旅行がしたいと思えた旅行者の皆さまのお手伝いをしていきたいと思えます。」

■ アンケート概要

- サンプル数: 計9,200名/16地域
- 調査対象: 日本、アメリカ、カナダ、メキシコ、フランス、ドイツ、イタリア、イギリス、オーストラリア、ニュージーランド、香港、マレーシア、シンガポール、韓国、タイ、台湾
- 調査期間: 2020年11月18日～12月9日
- 調査方法: インターネットリサーチ
- 調査会社: Northstar Research Partners

※本調査では小数点第1位で四捨五入しているため、足し上げても合計数値が100%とならない場合がございます。

■ 過去の調査結果

※過去の調査は以下の通りです。

2019年版: [世界19ヶ国 有給休暇・国際比較調査2019も発表 日本人は世界で一番「短い休暇」が好き](#)

2018年版: [【世界19ヶ国 有給休暇・国際比較調査2018】日本の有休取得率、有休取得日数、ともに世界最下位](#)

2017年版: [【世界30ヶ国 有給休暇・国際比較調査2017】日本の有休消化率、2年連続 世界最下位](#)

2016年版: [有休消化率3年ぶりに最下位に！有給休暇国際比較調査2016](#)

エキスペディア概要

エキスペディア (Expedia) は、世界の大手総合旅行ブランドの一つで、世界中の旅行者が簡単に旅を計画し予約できるようサポートしています。日本語サイトの Expedia.co.jp では、最新のテクノロジーのもとで世界中への旅行を可能にするとともに、ホテル、航空券、パッケージツアー、現地ツアーなどを、お得な価格で取り揃えています。

■ ホームページ: <http://www.expedia.co.jp/>

■ LINE: @expediajapan

■ Twitter: http://twitter.com/Expedia_Japan

■ Facebook: <http://www.facebook.com/ExpediaJapan>

※Expedia およびエキスペディアのロゴは、米国 Expedia, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。その他の商品名、製品名、会社名などは、一般に各社の商標または登録商標です。